

団体名 倉敷西ライオンズクラブ サムライ支部	代表者 支部長 安原 章裕	記載者 安原 章裕
所在地(市区町村名のみ) 倉敷市		
活動目的 地域への奉仕活動を行うとともに、青少年健全育成事業にも積極的に取り組んでいます。		
団体の紹介 倉敷西ライオンズクラブは、1979年12月15日に全国で2,382番目、336B地区で73番目、岡山県で54番目、倉敷市で12番目のクラブとして誕生して以来、歴代会長を中心に会員一同和をもって団結し、地域に解け込み善意の奉仕活動を続けております。 その中のサムライ支部は、若手メンバーで構成されており、現在8名で活動を行っています。今年で発足4年目であり、親クラブとは別の独自の事業を行っています。「親クラブと地域に仕え、時代を切るような革新的な事業を行うこと」が活動テーマです。		
助成を受けての活動内容 将棋文化の普及、より幅広い世代への浸透を目的として、(一社)玉島青年会議所との共同事業として「親子ふれあい教室」を開催しました。当日は親子27組を対象に、記念駒作りと駒型のキーホルダーを作成してもらいました。 記念駒作りは、置物用の駒へ、あらかじめ用意していた、「竜」や「王」の文字の台紙を使って、カーボン紙で駒に文字を複写をして、複写した文字を水性塗料で塗り、文字を完成させます。丁寧に何度も重ね塗りをする子や、豪快なタッチで躍動感の文字を書く子、それぞれ、個性のある記念駒が見られました。 駒型のキーホルダー作りは、実際の将棋の駒の大きさの物を使用して、好きな文字を書いてもらい、アクセサリーパーツの紐をとおして、自分だけのオリジナルのキーホルダーを作ってもらいました。		
助成を受けての成果 当日は、親子27組にご参加いただきました。記念駒作り、駒型のキーホルダー作りを親子で協力して行ってもらいました。共同開催で、(一社)玉島青年会議所には、女流棋士である里見咲紀女流初段をお招きして、講演会と多面指の指導対局をしていただきました。本事業を通じて、将棋の素晴らしさが少しでも伝わったのではないかと思います。		
今後の活動の課題点 今回の事業を一過性のものにするのではなく、今後も将棋大会、講演会、指導対局等、将棋に関する様々な事業を継続して行い、「将棋のまち くらしき」を更にPRしていきたいと考えています。事業を行う上で、どれだけ「人」と「まち」を巻き込んで、一緒になって活動していけるか、この点を念頭に置き今後も活動を継続していきます。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 〒713-8122 倉敷市玉島中央町2-3-12 倉敷西ライオンズクラブ サムライ支部 支部長 安原 章裕 TEL.086-522-6734 FAX.086-525-0020		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。  
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)  
写真・チラシ・パンフレット等をA4版1頁にまとめPDFもしくは、画像データでいただければ幸いです。

## 親子ふれあい将棋教室 活動風景

